

●まちのできごと



12月5日(土)、中組集会所で第1回災害対策モデル事業が行われました。

全国5ヶ所で行われているモデル事業であり、川に挟まれている町で、もし洪水などの災害が起こった場合の対応について出席者で話し合いました。



12月9日(水)、中央公民館で西南濃老人クラブ連合会女性部セミナーが開催されました。「レクリエーション活動を通しての認知症予防について」や、「高齢者の詐欺被害、交通事故防止について」の講演の後、音楽療法の「懐かしい歌を楽しく歌いましょう」では、参加者が「高校三年生」「かあさんの歌」などを歌いました。ハンドベルを使った演奏も行われ、体を動かさず体験型セミナーに参加者はとても楽しそうでした。



12月5日(土)、青年のつどい協議会(佐竹克則会長)主催による「安八町合併60周年イルミネーション」の飾りつけと点灯式が行われました。

ハートピア安八の入り口付近を10,000個以上のLED電球が彩ります。このイルミネーションは1月10日(日)までの間、午後5時~10時にかけて点灯します。

またAPG60フォトコンテストで同イルミネーションをテーマにした写真を募集していますので、ご応募ください。



12月13日(日)、名森小学校で第10回名森フェスティバルが行われました。親子でしめ縄&リースを作った後は、わなげやボール投げ、パンブーダンスなどで元気に遊びました。百梅園の梅を使った梅干のたね飛ばしでは、実を食べて残った種を口をすぼめてみんな一生懸命飛ばしました。お昼前には古代米のもちつき大会が行われ、つきたてのきな粉もちをみんなでおいしそうにほおばりました。

12月15日(火)、中央公民館で町内の小学校5、6年生を対象とした青少年劇場が開催されました。日本の伝統芸能である狂言にふれることで、児童に豊かな心情と確かな鑑賞力を育ててもらうことを目的としています。

観賞会では狂言についての解説、鑑賞の後、代表児童らがステージに上がり、狂言の基本姿勢や台詞の言い回しなどを体験しました。